

平成 23 年 3 月 26 日 午後 2 時～5 時 3 月環境部会例会（鹿児島市郡山町）

鹿児島市郡山町 三原義秋先生の「千年の森」を訪ねて

参加者：上野敏孝、田ノ上春雄、浦島和衛、大川畑隆、前田美樹朗 以上 5 名

先生は、現在 96 歳 気象学者、千葉大学を定年退官後、故郷の郡山町に帰り、300 本の山桜を育て、永遠に切らない事を条件に町に寄贈森の再生と人の健康への提言をされ、また世界一大きい山栗も育てていらっしゃいます。我が国の林業に対する提言もされており、年齢を感じさせない意欲的で闊達なお話を 2 時間ほどして頂きました。



市作成の入口の看板

千年の森は尾根伝いにあり甲突川と神之川の分水嶺となっていた。



山奥の峰伝いの古道上に先生の自宅があった。

三原義秋先生の講義を熱心に受講するメンバー



写真の説明を加えながら講演される三原先生

30 年以上前に作成された自宅のシャワートイレ



周りの木の影の影響で枯れた山桜（木の陰は禁物）



焚き火瞬間消火器（細霧を噴霧できるノズル付）



先生は帰る私達に植物の説明をしながら見送って頂いた。



三原山栗（突然変異種）



三原山栗原木（風に弱いため低くしてある）





実生山桜の植林（ある程度大きくなってから明るい場所に植林） 推定樹齢（先生談）300年の山桜満開です。